

特集

行政と学校が求める 障がい者雇用

障がい者雇用を進めるための施策&
就労に向けてチャレンジする機会の創出

支部さんぽ vol.17
県南支部 横須賀編

ちょっと気になる素顔拝見
有限会社川田製作所 川田俊介氏

かながわPOWER
株式会社みどり企画

SCHEDULE

※日程変更の可能性もあります。 e.doyuをご覧ください。

 マークの行事はどなたでも参加できます。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。TEL 045 (222) 3671

2月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1 先負 正副代表理事会 広報委員会	2 仏滅 中堅社員研修会	3 大安 経営指針入門 講座「礎」	4 赤口 相模原支部幹事会
5 先勝 相模原支部幹事会 川崎支部幹事会 横浜ブロック新会員歓迎会 たま田園支部幹事会 県南支部幹事会	6 友引 桐蔭横浜大学講義 経営戦略研究会 県央支部幹事会	7 先負 横浜北支部幹事会 湘南支部幹事会 横浜みなと支部幹事会 横浜中央支部幹事会	8 仏滅 求人委員会 青年部会幹事会	9 大安	10 先勝	11 友引
12 先負 建国記念日振替休日	13 仏滅 桐蔭横浜大学講義 キタのセミナー	14 大安 理事会 & 全国総会実行委員 会キックオフ	15 赤口 総務委員会 横浜みなと支部例会 	16 先勝 県南支部例会  たま田園支部例会  女性部会	17 友引 企業変革支援 セミナー	18 先負
19 仏滅 横浜ブロック会議 社員教育委員会 小田原支部幹事会	20 大安 桐蔭横浜大学講義 相模原支部例会  県央支部例会 	21 赤口 湘南支部例会  横浜北支部例会  ものづく り広場共催 	22 先勝 かながわJobway® & 就活 相談会 求人委員会 青年部会例会 	23 友引 雇用創造フォーラムみかさ ん	24 先負	25 仏滅
26 大安 財務委員会 横浜中央支部例会 	27 赤口 川崎支部例会  横浜みなと支部みなと結の 会	28 先勝 組織委員会 同友会を知る為のオリエン テーション 	29 友引			

3月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1 先負 幹部社員・最終発表会	2 仏滅	3 大安
4 赤口 川崎支部幹事会 たま田園支部幹事会 相模原支部幹事会 県南支部幹事会	5 先勝 経営戦略研究会 正副代表理事会 県央支部幹事会	6 友引 横浜ブロックZoom商談会 横浜北支部幹事会 横浜みなと支部幹事会 横浜中央支部幹事会 湘南支部幹事会	7 先負 第54回中小企業問題全国研 究集会 求人委員会 広報委員会	8 仏滅 女性部会 かわさき起業家オーディン ジョン ダイバーシティ委員会	9 大安	10 友引
11 先負 小田原支部例会  社員教育委員会	12 仏滅 青年部会幹事会 & 卒業式	13 大安 理事会 & 入会式	14 赤口 ものづくり広場会議 政策委員会 横浜みなと支部みなと結の 会	15 先勝 障害者福祉部会定例会  県南支部例会  たま田園支部例会 	16 友引	17 先負
18 仏滅 横浜ブロック会議 川崎支部100人例会  小田原支部幹事会	19 大安 湘南支部例会 	20 赤口 春分の日	21 先勝 求人委員会 総務委員会 ダイバーシティ委員会例 会 	22 友引 相模原支部総会	23 先負	24 仏滅
25 大安	26 赤口 横浜みなと支部 & 県央支部 合同例会 	27 先勝 横浜中央支部例会  横浜北支部例会 	28 友引 組織委員会 同友会を知る為のオリエン テーション 	29 先負	30 仏滅	31 大安

特集

行政と学校が求める 障がい者雇用

障がい者雇用を進めるための施策 & 就労に向けてチャレンジする機会の創出



障害者雇用促進法では、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合（法定雇用率、民間企業の場合は2.3%。※従業員を43.5人以上雇用している民間企業は、1人以上）の障がい者を雇うことを義務付けています。

令和6年4月には法定雇用率が2.3%→2.5%へアップ。対象事業主の範囲も広がり、「従業員43.5人以上」から「従業員40.0人以上」へ拡大するタイミングを迎えます。

法定雇用率が段階的に引き上げられている中、神奈川労働局では、令和5年12月、「障害者雇用状況」の集計結果（令和5年6月1日現在）を公表。民間企業においては、雇用障がい者数 27,119人、実雇用率2.29%と過去最高を更新しました。法定雇用率には及ばないものの、実雇用率は対前年比0.09ポイント上昇してきています。

障がい者雇用は着実に進んでいるようにも見えますが、大きな課題もあります。規模の小さい43.5人～100人未満の中小企業の障がい者雇用がなかなか進んでいないことです。県内の法定雇用率未達成企業のうち43.5人～100人未満の企業数は1,426社。そのうち92.4%にあたる1,317社が障がい者雇用をしていないという厳しい状況があります。

「法定雇用率が定められているのはもちろん知っているけれど、実際、どのように障がい者雇用を進めたらいいのかわからない、どのような仕事を任せられるのかわからない」と悩み、障がい者雇用を躊躇してしまっている方も少なくはありません。

そこで、今回、中小企業経営者として、障がい者雇用を考える時に何かからスタートすればいいのかというポイントをお伝えできればと思います。

今回ご協力いただいた方々

神奈川県産業労働局労働部 障害者雇用促進担当課長 黄川田 愛様

神奈川労働局 職業安定部職業対策課 課長補佐 佐藤 貴紀様
地方障害者雇用担当官 隈園 裕子様

神奈川県立足柄高等学校 進路グループ 宮舘 美能留様

障がい者雇用の一般的な流れ

今回の取材の前に、障がい者雇用を行っていない会員に障がい者雇用の疑問点を聞きました。その結果、「どのように準備をし、どこまで準備ができれば求人を行えばよいのかわからない。」「どこに行ったら何をすべきか、一歩の踏み出し方がわからない」「関連する機関の種類が多く、機関の名称だけが先行してしまい、実際よくわからない」という回答を得ました。

機関誌でも何度も障がい者雇用の特集を行っています。すでにうまくいっている企業に焦点が当たり、最初の一歩がわからないと思う方が多いようです。整理してみましょう。

障がい者雇用の一般的な流れはつぎのようになります。

1. 障がい者雇用の理解を深める

- ・就労支援機関への相談
- ・特別支援学校や障がい者が働く現場を見学し、障がい者雇用をイメージする
- ・社員研修の実施、障がい者の職場実習の受け入れ

2. 配置部署や従事する職務を選定する

- ・就労支援機関の活用（地域障害者職業センターからの提案、助言など）

3. 受け入れ態勢を整え、労働条件などを決める

- ・施設などの改造、就労支援機器の無料貸出の活用
- ・指導担当者の選任 ・募集人数、採用時期、採用部署などの決定

4. 採用活動を行う（募集～採用）

- ・ハローワークへの求人申し込み ・障害者就職面接会への参加

5. 職場定着

- ・ジョブコーチ支援の活用 ・就労支援機関との連携



行政の視点では、いかにして中小企業に障がい者雇用を推進してもらうのが課題となっています。

このため、神奈川県雇用労政課では、企業の経営者や人事担当者等を対象に、障がい者雇用への理解を深め、自社での雇用イメージを持てるようフォーラムや企業交流会、セミナー等を開催しています。また、積極的に障がい者雇用に取り組む企業には「かながわ障害者雇用優良企業」の認証を行い、企業のイメージアップや社会的に評価される仕組みづくりを行っています。さらに、県障害者雇用促進センターでは、法定雇用率未達成の中小企業を個別訪問し、障がい者雇用への理解促進を図るとともに、国の助成金や県の支援策の紹介、企業のニーズに合わせた出前講座の実施などの雇用支援を行っています。

最初の一步は企業全体で障がい者と共に働くことをイメージできるようにすること。経営者だけが「やるぞ」と思わずに、社員も含めて「障がい者が一緒に働くことが日常」と思える環境づくりが必要です。

障がい者雇用の相談はハローワークへ

しかし、その環境づくりもどこに相談すれば良いのでしょうか。このことも含め、一般的な流れの最初の一步となる「就労支援機関への相談」はどこに行けば良いのでしょうか。そんな疑問を神奈川県労働局に聞いてみたところ、なんと「ハローワークへご相談ください」と意外な答えが返ってきました。

取材班が障がい者雇用のための準備を「すべて」整えてから、満を持してハローワークへ求人票の申込に行くものだと考えていたと伝えると「そんなことはありません。今は障がい者の雇用経験や雇用ノウハウが不足している企業に対して、『企業向けチーム支援』

を実施していますので、障がい者雇用をやってみようかなど考えた段階からご相談いただけます。何の準備もいりません。まずはハローワークの雇用指導官へ『障がい者雇用を考えている』と電話でご相談ください。関係機関へハローワークが橋渡しを行い、雇い入れをサポートします。」とご回答いただきました。

つまり、ぼんやりと「そろそろ障がい者雇用を…」と考え始め、何の策もない時点からハローワークへ相談すると、一般的な流れにのっとり、ハローワークが各機関と連携し、さまざまな支援が行われていきます。まだ企業側の意識の醸成ができていない場合は、セ

ミナー・フォーラムへの参加、就労移行支援事業所等への見学や社員研修実施の提案等、障がい者理解促進のための助言をしてもらえます。さらに作業の切り出しの方法がわからなければ、専門家からの提案や助言を受けることができます。

ひと昔前と違い、今はハローワークを中心として障がい者雇用の入口が用意されています。「障がい者雇用を思い立ったらハローワークへ」が共に働く喜びを生む雇用への入口です。

障がい者雇用に関連する機関

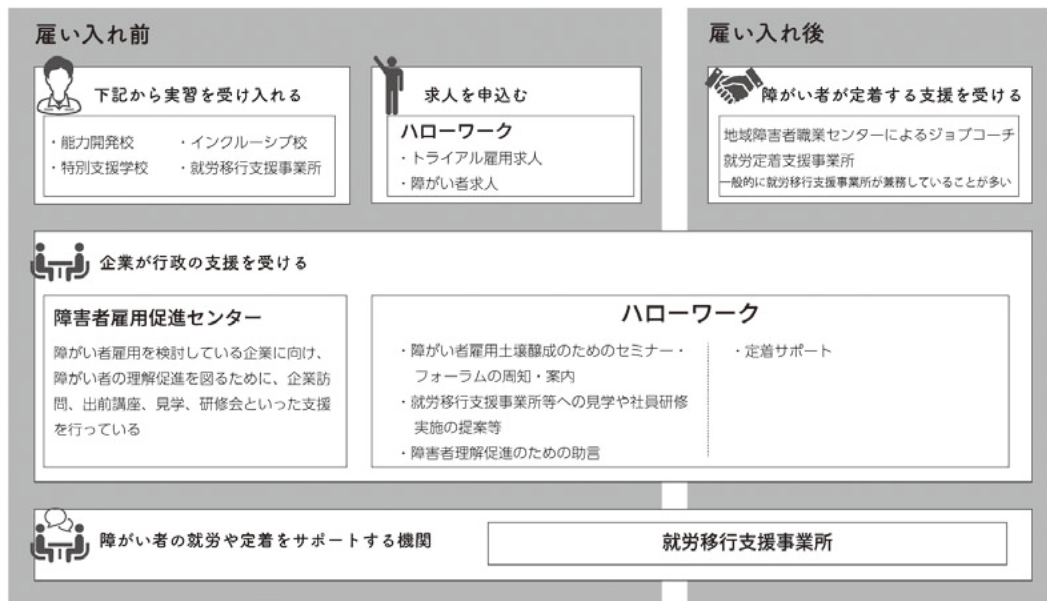
障がい者雇用に関しては、関連する機関の違いやサポート内容がわからないことも、どこに相談に行くべきかわからないという一因ではないでしょうか。

企業が障がい者雇用を行う場合に関連する機関を図にまとめました。この中で就労移行支援事業所は障がい者のサポートの延長線で、企業からの相談も受け付けています。ま

た多くの就労移行支援事業所が障がい者の就労後の職場定着のサポートも行っています。神奈川県中小企業家同友会（以下、神奈川同友会）の中にも就労移行支援事業所を営む会員企業も多数あります。会員企業であれば、少々ハードルが下がりが気軽に相談できるかもしれませぬ。ハローワークと併せて相談してみてください。

余談となりますが、「就労」は障がい者側から見た企業等で働くことを意味し、企業側から見ると障がい者の方に働いてもらうことは「雇用」です。似たような言葉が多く、混乱しがちですが、どの立場から見ているかを考えると整理しやすいでしょう。

👉 雇い入れを行う企業から見ると、こんな機関が関わっています



インターンシップによる就労体験の機会を学生に

障がい者の学びの場としては、主に「特別支援学校」や「インクルーシブ教育実践推進校（以下、インクルーシブ校）」があります。

「特別支援学校」とはさまざまな障がいを持つ生徒を対象に授業と共に生活面での自立を目指した支援を行っている学校です。幼稚園～高等部までがあり、神奈川県では令和5年の4月より従来「〇〇養護学校」と呼ばれていた学校も「〇〇支援学校」と名称を統一しました。現在、県立としては約30校の「神奈川県立特別支援学校」があります。

特別支援学校では、職業的自立を目指し、高等部1、2年次に学校内で企業での作業を疑似体験する「作業学習」が行われています。また、実際の企業の現場で体験する「現場実習」を行っています。これは人や社会にかかわること、働く意義や意欲、自己理解、自己選択、自己決定等、社会的・職業的自立に向けて、働くための基盤となる能力や態度を育

てることを目的とし、生徒一人ひとりに合った卒業後の進路を見出すためのものです。

しかし、校内作業学習の「作業の募集」、「現場実習の受け入れ先企業」に苦慮しているといえます。学校側にとって一番の悩みは実習先の確保であることが浮き彫りになっています。

特別支援学校と同様、障がいを抱えながら学ぶ高校に「インクルーシブ校」があります。インクルーシブ校とは、インクルーシブ教育（障がいのある者となない者が共に学ぶことを通して、共生社会の実現に貢献しようという考え方に基づく教育）を積極的に行っている学校で、現在神奈川県内には14校（令和6年度から18校）があります。

今回取材させて頂いた「神奈川県立足柄高等学校」は県内で初めてそのインクルーシブ教育を取り入れた3校のうちの1校です。

インクルーシブ校では1クラスに3名程度

の障がい者がいますが、誰が障がい者なのかは公表されておらず、生徒同士はお互い誰が障がいを持っているかを知らされずに過ごしています。したがって、カリキュラムも通常の高校生とほぼ同じになるため、特別支援校と異なり、現場実習は長期休業期間が中心になってしまうのだそうです。

インクルーシブ校の宮舘氏から中小企業へ「やりたい事がわからない・何がしたいかが分からない生徒も多く、インターンシップによる就労体験の機会を増やし、モチベーションアップを図りたいと考えています。基本的には長期休業期間に1～2週間の実習の受け入れをお願いしたいです。しかし、時間が遅くならないのであれば、放課後に数時間ずつ、アルバイトのような就労形態でもお願いしたいと考えています。ぜひご協力いただければと思います。インターンシップ先としては工場や倉庫などで体を動かすような仕事が学生

に人気があります。まずは学校見学に来ていただき、学生を見てほしいです。」と熱いメッセージをお受けしました。

特別支援校、インクルーシブ校、いずれの場合も実習を受け入れたからと言ってそのまま就職となるわけではなく、働くということの基礎を学び、チャレンジすることを学ぶ機

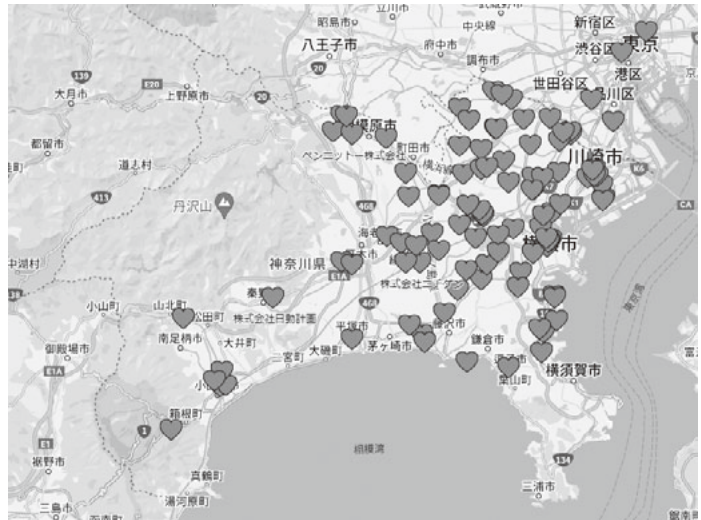
会を学生に与えてほしいと訴えていらっしゃいます。神奈川同友会には実習受け入れのノウハウを持っている会員企業も多く存在します。先達に学びながら、実習を受け入れてみてはいかがでしょうか。雇用の前に実習受け入れや作業依頼を行うことで、自社の障がい者雇用への障壁も低くなります。



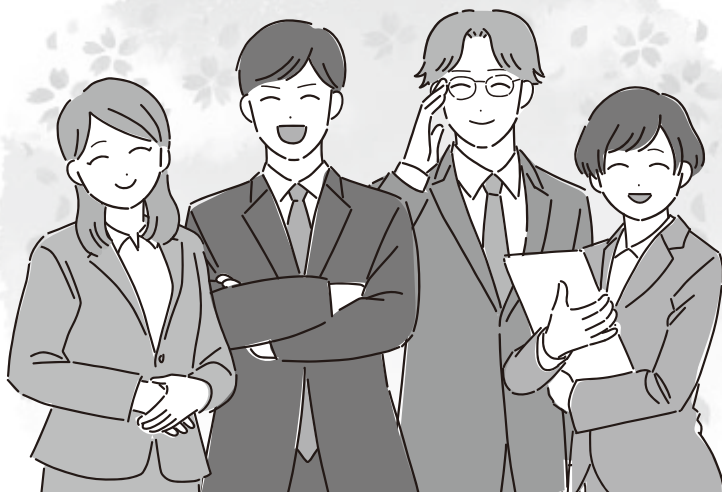
まずは「職場体験協力マップ」に登録してみよう

ダイバーシティ委員会では、障がいのある人や児童養護施設出身の若者向けに、雇用の前にスモールステップとして「実習（職場体験）」を行う事をお薦めしています。「ダイバーシティ職場体験協力マップ」はダイバーシティ委員会がまとめた、職場体験や実習を受け入れる会員企業を示したマップです。神奈川県中小企業家同友会のホームページ (<http://bit.ly/3tZrHkD>) からご覧いただけます。

このマップは企業と当事者の相互理解を深めるだけでなく、我々中小企業にとって雇用に関するノウハウを蓄積する場として活用でき、人材不足にも一役買うツールとしても活用できます。少しでも興味を持った方は近くの「ダイバーシティ委員会」のメンバーへ登録したいと伝えてみてください。



黒岩 祐治神奈川県知事も登壇! 2月23日は神奈川同友会主催のみかさんフォーラムへ



来る2月23日（金・祝）に小田原お堀端コンベンションホールで神奈川同友会が主催する第1回雇用創造フォーラム みかさん in 小田原が開催されます。かわいいネーミングの「みかさん」は「みんな かつやく からふる かながわ」の頭文字を取ったもので、心がふと温まって軽くなる感じがします。

全体会となる基調講演では黒岩知事も登壇されます。また、分科会も4分科会を設営し、様々な角度から障がい者雇用を考えます。みかさんは障がい者雇用のハードルを低くし、身構えることなく障がい者雇用を推進していこうというフォーラムです。

梅もほころぶ季節、2月23日はぜひ小田原へ足をお運びください！

みんな かつやく からはふる かながわ

第1回

雇用創造フォーラム

みかさん in 小田原

多様な他者と協働・共生するスキルとセンスは新たな価値を創出する源となります。

このような能力を備えた人材の育成は、全ての中小企業にとって存続・発展の要であり、多様な人材の雇用が効果的であることは明らかです。

そして、地域には、働く意欲があり、働く能力があるにも関わらず、社会通念や個々人の抱える事情により、働く機会を逸している多様な人たちが沢山います。

当フォーラムは地域に根差す企業をはじめ、保護者、教育、福祉、行政、保健、医療の各関係者が集い、多様な人材や多様な雇用形態の具体事例を共有し「働く」ことを通して地域に住む人たちと企業が「共に育ち輝く」方法と実践を考えていきます。

日時

2024年2月23日(金) 13:00~17:40
(12:30 受付開始)

会場

受付・開会式・全体会
小田原お堀端コンベンションホール
(栄町1-14-48 ジャンボーナックビル5F)
分科会
おだわら市民交流センター UMECO
(栄町1-1-27)

参加費

無料

タイムスケジュール

12:30~ 受付開始

13:00~13:20 開会式

13:20~14:50 全体会

(分科会会場への移動・休憩)

15:20~17:40 分科会

※分科会終了後は各自解散となります

全体会 (13:20~14:50)

基調
講演

(仮)「当事者目線の障がい福祉」の推進
~ともに生きる社会を目指して~



講師

神奈川県知事
黒岩 祐治氏(くろいわ ゆうじ)

特別
講演

障がい者の可能性を広げ、
価値創造を実現!



講師

株式会社リンクライン 代表取締役
コムテック株式会社 取締役
神原 薫氏(かんばら かおる)

分科会 (15:20~17:40)

第1分科会 インクルーシブデザインってなに?

新しい価値を生み出す! 違いが生きる環境の作り方

報告者 特定非営利活動法人Collable(こらぶる)
代表理事 山田 小百合(やまだ さゆり)

第3分科会 ロールプレイで学ぶ障害者雇用

障害者雇用を始める際に知っておきたい3つのポイント

報告者 ハローワーク小田原
会社経営者
障害者就業・生活支援センターぼけっと

第2分科会 障害当事者の就労実例の紹介

支援学校卒業生と雇用企業が本音で語る

報告者 支援学校卒業生及び雇用企業

第4分科会 もう人手不足とは言わせない!
多様な人材戦略で雇用を確保!

多様性を力に変えろ!
多様な人材戦略で、中小企業の新たな可能性を開花させる!

報告者 児童養護施設ゆりかご園
株式会社H.S.A
代表取締役 田中 勉(たなか つとむ) 他

主催 神奈川県中小企業家同友会 小田原支部・ダイバーシティ委員会

協力 小田原箱根商工会議所/他

お問い合わせ/神奈川県中小企業家同友会事務局 TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル3F

申し込み



横浜市からの依頼で 「まいぎり式火起こし器」を製作 博物館オンラインショップで販売も開始

株式会社横浜家具製作所（代表取締役 浅井 雄二氏）では横浜市歴史博物館からの依頼で「まいぎり式火起こし器」を製作、同博物館のオンラインショップでの販売も開始されました。

きっかけは横浜市歴史博物館の広報からの問い合わせでした。横浜市では以前から小学生を対象としたイベントとして、まいぎり式火起こし器（以下、火起こし器）を使った火起こし体験を行っています。この火起こし器の仕入先が廃業のため、仕入が滞っていることでした。博物館からは販売価格の値上げ覚悟で相談されましたが、廃材の利用を決め、作業の空き時間を使用して製作するなど、企業努力の結果、無事に納入することができました。

浅井氏は「廃材利用のため、火起こし器の色味や材質はそれぞれ違う趣のものになります。SDGs的な観点から見れば環境にも優しく、材料を無駄にしないことになります。博物館側も以前と同価格で仕入ができ、しかも横浜市内の企業だということで大変喜んでくれました。最初はオーダーメイド家具とは異なり、量産品のために社員の反応はいま一つだったのですが、入社3年目の社員にサンプル提出後の正式発注から納品までの一連の流れを任せました。量産品なので効率求められることもあり、大変だったと思いますが、良い経験と自信に繋がったと思います。

木工所業界は高齢化が進み、廃業する業者が増えており、ちょっとした“木”にかかわる相談をお願いできる業者が減っています。今

後は、今以上に信頼性を構築し、人の記憶に残る仕事を広げていきたい。」と笑顔で語っていただきました。



まいぎり式火起こし器



実際の「まいぎり式火起こし器」での火起こし動画はこちら

〈文/株式会社ソリッドプラス 鈴木 大〉

川崎市産業振興財団との包括連携協定記念企画セミナー 「外国人材受入の心構えと課題」を開催

神奈川同友会・川崎市産業振興財団の包括連携協定記念企画として2023年10月3日に開催されたキックオフシンポジウムに続き、2023年12月6日にミュウザ川崎内のK-NIC (Kawasaki-NEDO Innovation Center) にて、セミナー「外国人材受入の心構えと課題」が開催されました。

神奈川同友会から代表理事の田中勉氏をはじめ、会員企業10社ほど参加をいたしました。今回のセミナーでは、実際に日本で活躍している3名の外国人材の方にインタビュー形式で、実体験の報告がありました。3名とも違う国の出身、日本語の理解度も様々な中で、日本で仕事をすることや、生活することについて報告があり、雇用される方の生の声を聞くことができました。

その後に外国人雇用をされている企業経営者の方のパネルディスカッションが行われ、神奈川同友会副代表理事の赤原宗一郎氏（株式会社赤原製作所 代表取締役）が登壇しました。

赤原製作所では、以前からベトナム、ブラ

ジル、パラグアイなど、のべ9か国（現在は7か国）出身の方が働いています。同社では外国の方と日本の方で給与の差をつけず、同じように雇用しているそうです。「外国人だから」「日本人だから」と分けて考えず、一人ひとりの素養や性格などによって仕事に対しての向き合い方は違ってくるといいます。

外国人雇用に関しては、赤原製作所のように日本人と外国人とで切り分けず雇用を考えると企業もあります。今回参加された企業の中では、クライアントが外国に多く、セールスの仕事はその国の言葉・常識などを知っている外国人の方に任せた方が、日本人スタッフが対応するより上手くいくという企業もありました。

日本での人口減少は、これからますます加速をしていきます。自社の発展を考え、海外に市場を求める企業はもちろんのこと、日本国内だけでビジネスを展開される企業にとっても、人材確保が難しくなっている昨今、外国人雇用を考える良いチャンスになるのではないのでしょうか。



川崎市産業振興財団 理事長三浦淳氏の挨拶



パネルディスカッションの様相

〈文/株式会社ハマ企画 松村千代〉

第54回 中小企業問題全国研究集会in三重
～理念実現のため激動時代の潮流に乗れ～

加速
結束
ReBorn

3/7 木 → 8 金
2024
13:00開会 12:00閉会

会場：三重県総合文化会館

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

会費：15,000円（交流会費・宿泊費別）

25,000円（交流会参加の場合）

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、
課税仕入れにはしないようにお願いします

主催

中小企業家同友会全国協議会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13
岩本町寿共同ビル3F
TEL：03-5829-9335

設営

三重県中小企業家同友会

〒510-0066 三重県四日市市南浜田町2番14号
水谷ビル3F
TEL：059-351-3310



第54回中小企業問題
全国研究集会
公式Webサイト

申し込み

横浜みなと支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月15日(木) 午後6時00分～

テーマ：夢への挑戦!! 鬼経営者が変わった今
～美しさを求めて夢の椅子ができるまで～
報告者：(株)アンブインテリアデザイン 代表取締役
場所：神奈川中小企業センター (リアル&Zoom)
会費：無料



小早川梓氏

相模原支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月20日(火) 午後6時30分～

テーマ：俺が会社を売らなかった理由
～受け継ぐ側と渡す側の覚悟とは～
報告者：(株)応用ソフト開発
代表取締役会長 鈴木克彦氏
場所：ソレイユさがみ (リアル&Zoom)
会費：無料



横浜中央支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月26日(月) 午後6時30分～

テーマ：私はなぜ、この店を諦めなかったのか
～横浜の路地裏で誓った経営者としての覚悟と10年ビジョン～
報告者：(株)プライベート・サービス/ワインビストロ路地裏
代表取締役 佐々布拓昭氏
場所：神奈川中小企業センター (リアル&Zoom)
会費：無料



湘南支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月21日(水) 午後6時30分～

テーマ：意外と苦労している承継社長の経営実践!!
～同友会で学んでいたから乗り越えられた!～
報告者：(株)総合環境分析 代表取締役 石渡 壮氏
場所：藤沢商工会館ミナパーク (リアル&Zoom)
会費：無料



横浜北支部&ものづくり広場 (リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月21日(水) 午後6時30分～

テーマ：あなたなら、どうする!?
～製造業経営者の課題を異業種経営者と考える～
報告者：(株)トワダ 代表取締役 阿部早苗氏
東京精密発條(株) 取締役 大西貴子氏
村上電業(株) 村上明香氏
場所：神奈川中小企業センター (リアル&Zoom)
会費：無料



県南支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月16日(金) 午後6時00分～

テーマ：環境と福祉の融合で日本を変える
～プラスチックリサイクル×障がい者施設
で世の中の仕組みを変える～
報告者：都市環境サービス(株)
代表取締役 前田隆之氏
場所：横須賀市産業交流プラザ (リアル&Zoom)
会費：無料



川崎支部・ダイバーシティ委員会 (リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月27日(火) 午後5時00分～

テーマ：雇用の取り組みと職場環境の変化について
～あの企業はどうやって短時間雇用をはじめたのか～
報告者：(株)大原商店 代表取締役 大原盛善氏
(株)久保田酒店 代表取締役 窪田隆太郎氏
場所：ミュウザ川崎 (リアル&Zoom)
会費：無料



【その他のセミナー】

同友会を知る為のオリエンテーション

申込みはコチラ

2月28日(水) 午後6時30分～

テーマ：「同友会と私」
報告者：(株)ROX 代表取締役 白岩 圭氏
場所：町田新産業創造センター (リアル&Zoom)
会費：無料



たま田園支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月16日(金) 午後6時30分～

テーマ：「現場」で生きる…企業家人生の集大成
～会員の皆さんにお伝えしたいこと～
報告者：(株)サクラトレーディング 代表取締役 小山 誠氏
場所：麻生市民館 (リアル&Zoom)
会費：無料



青年部会2月交流会(リアルのみ)

申込みはコチラ

2月22日(木) 午後2時00分～

テーマ：終活ってなに?
報告者：弥侑feel 代表 門倉郁美氏
(株)みらいDC 代表 長尾真裕美氏
場所：曹洞宗 潮田山 光永寺 (リアルのみ)
会費：無料



県央支部(リアル&Zoom)

申込みはコチラ

2月20日(火) 午後6時30分～

テーマ：地域に貢献し、社会に必要とされる企業を目指す
～トンドコロ流 人生の楽しみ方～
報告者：遁所道路(株) 代表取締役 遁所好男氏
場所：あつぎ市民交流プラザ (リアル&Zoom)
会費：無料



第1回雇用創造フォーラム みかさんin小田原(リアルのみ)

申込みはコチラ

2月23日(祝・金) 午後1時00分～

場所：小田原お堀端コンベンションホール (第1部：全体会)
おだわら市民交流センターUMECO (第2部：分科会)
会費：無料



報 告

湘南支部(リアル&Zoom)

報告はコチラ



12月20日(水)午後6時30分～

テーマ：波乱万丈人生での学びと経営指針実践の融合
～人の繋がりと学びの大切さ～

報告者：たけうち工房 代表 竹内 章氏

相模原支部(リアル&Zoom)

報告はコチラ



12月22日(金)午後6時30分～

テーマ：パワハラ・セクハラ・モラハラetc…
経営者はハラハラ!?

報告者：弁護士法人高瀬総合法律事務所
代表弁護士 高瀬芳明氏

横浜北支部&青年部会 (リアル&Zoom)

報告はコチラ



12月12日(火)午後6時30分～

テーマ：日本一良い板金屋を目指して
～コアを磨く～

報告者：(株)Metaplant 代表取締役 平井達矢氏

県南支部(リアル&Zoom)

報告はコチラ



12月15日(金)午後6時30分～

テーマ：オレがオレがのワンマン経営から社員を最も信頼できるパートナーとなることに気づいた経営者の気づきと変化

報告者：(有)レントオール平塚 代表取締役 嶋田政光氏

たまでんセミナー(リアル&Zoom)

報告はコチラ



12月15日(金)午後6時30分～

テーマ：企業変革支援プログラム Ver 2 の活用 (仮)

講師：税理士法人YMG林会計
代表取締役 林 充之氏

速報

令和6年能登半島地震支援

元日に発生した能登半島地震において、神奈川同友会では第一弾の支援として、1月16日に支援物資を石川県羽咋市と輪島市へ届けてまいりました。今回の支援は滋賀を中心に災害支援活動を行っているボランティア団体「心援隊びわこ」に参加されている日崎工業株式会社 代表取締役の三瓶 修氏を中心として進められました。

三瓶氏は以前から親交のあった心援隊びわこのリーダーの一人でもある滋賀同友会の株式会社薪来歩 代表取締役 池田卓矢氏と連絡を取り、現地のニーズを把握。あまり時間がないうち、理事を中心に支援物資の準備を行ったものです。今回は日崎工業より独立電源トレーラーハウス2台を無償提供いただき、男女下着類、防寒着、簡易トイレ、モバイルバッテリー、灯油タンクなどを届けました。

神奈川同友会でも第二弾の支援として、現地と連絡を取りながら、ボランティア、支援物資、支援金などの活動を行っていく所存です。支援金の受付は継続して行っております。



で、会員のみなさまのご協力を賜りますようお願いいたします。

(文／(株)アールジャパン 荒岩 理津子)

支部さんぽ vol.17

〈県南支部 横須賀編〉



山口氏から以前のヴェルニー公園の説明を聞く

アメリカを感じる横須賀

米軍基地がありアメリカな横須賀を、この地で育った会員の有限会社コアアウトフィッターズ 代表取締役 山口浩也氏、広報委員会副委員長でもある 株式会社アールジャパン 代表取締役 荒岩理津子氏に案内していただきました。

アメリカな雰囲気は米軍基地から

JR横須賀駅の目の前に位置するヴェルニー公園は、平成14年にフランス人技師ヴェルニーが建設に貢献した旧横須賀製鉄所跡地（ドライドック）が対岸に臨める公園です。



ヴェルニー公園から見える米軍基地

旧横須賀製鉄所跡地は、現在は米軍基地の一部として利用されています。ヴェルニー公園の向かいのこの米軍基地には、複数の巨大な軍艦が停泊している



米軍横須賀基地の入り口

ことが多く、巨大な艦影は遠目から見ただけでもかなりの迫力です。基地が目前にあるのでヴェルニー公園散策中にも米軍関係者と思われる服を着た人ともすれ違います。ヴェルニー公園を散策するだけでアメリカな雰囲気を感じることができます。このような迫力のあるアメリカな雰囲気は、やはり横須賀ならではの雰囲気です。

横須賀米軍基地と横須賀市の友好の象徴として、米海軍のレシビが2008年に横須賀市に提供されたことにより、生まれました。ネイビーバーガーのパテは200g以上の基準があり、サイズもアメリカン！ ネイビーバーガーは迫力満点です。

ネイビーバーガーの楽しめるお店の一つはGALLEY HONEYBEEです。GALLEY HONEYBEEは、横須賀米軍基地のゲートの目の前にあり、1968年創業の老舗です。GALLEYはアメリカの軍隊用語で艦船や航空機等の厨房の意味があります。その名の通りアメリカな雰囲気の店内には、アメリカなジュークボックスやメニュー表等が配置され、アメリカに訪れたような雰囲気を楽しむことができます。



GALLEY HONEYBEE 店内がアメリカン！

サイズもアメリカン！ ネイビーバーガー

ヴェルニー公園の散策で小腹が減ったら、ヴェルニー公園から歩いて5分程度のどぶ板通りに行ってみましょう。どぶ板通りには、横須賀三大グルメの一つ、



GALLEY HONEYBEEの入り口

ネイビーバーガーの名店が複数あります。ネイビーバーガーは、

レギュラーネイビーバーガーコンボは、レギュラーネイビーバーガーとポテトとドリンクのセットです。レギュラーネイビーバーガーは、レギュラーというものの片手では持ちきれないような大きなサイズとなっており、肉厚のパ



店名「ハニー」がついてくる
ハニーバーガー

テにケチャップやマスタードを自分で追加してから頂くアメリカンスタイルです。

ネイビーバーガーとは別に、店名を模したハニーバーガーというバーガーもあります。ハニーバーガーには、はちみつが付属してきます。パテにはちみつとマスタードをたっぷり塗れば他ではなかなか食べれないあまじょっぱい味を楽しむことができます。

GALLEY HONEY BEEから一本奥側のどぶ板通りに入れば、ネイビーバーガーで有名なTSUNAMIがあります。TSUNAMIには、歴代の大統領の名前



もちろんネイビーバーガーを注文！

を模したバーガーメニューがあります。歴代の大統領とどんなバーガーが組合せられているのかも楽しめます。

どぶ板食堂Perryもどぶ板通りにあり、アメリカンな雰囲気味わえる名店です。ネイビーバーガー以外にもカレーやポテトのついたプレート等のメニューも充実しており、同時に色々なメニューにチャレンジできるよければ体験ができます。

米軍の払い下げ？ ミリタリーグッズ

アメリカンな雰囲気の中、どぶ板通りを歩いていると目につくのが、米軍の軍服やバッグなどを取り扱う「ミリタリーグッズ」のお店です。米軍からの払い下げ品を売っているお店があります。



軍服やコートなどを売るミリタリーグッズ店

特にミリタリーグッズに興味があるというわけではなくても、映画「トップガン」でトム・クルーズが着ていたジャケットやネームタグがカッコよく、憧れた方もいるのでは?? そんなものも購入可能です。

米兵が帰国の際に お土産にしていたスカジャン

横須賀発祥の「スカジャン」はその名も横須賀ジャンパーの略称。米軍の兵士たちが帰国する際に自分のジャケットに、和風な刺繍を入れたのが起源



スカジャンや軍服を売るFUJI

とされていますが、その後は刺繍の入ったジャンパーをお土産に買って帰るようになったそうです。

今となっては日本国内でもファッションとして着る方もいるため、もはやスカジャンは定番ファッションアイテムとなっています。

どぶ板通りにもスカジャンを扱うお店は何店舗もあり、「MIKASA」や「FUJI」など歴史のあるお店もあります。刺繍の善し悪しだけでなく、生地やジャケットのクオリティが



地元の人でもあまり持っていないという派手な刺繍のスカジャン

お店によって違うため、購入するならば是非店先へ行って、現物を見て購入されることをオススメします！

最近では「60代以上の方のコー

ディネイト」を出すお店まで出ていて、スカジャンで「ちょいワルオヤジ」を目指すのも悪くないですね。

軍服にもついている刺繍のワッペン

スカジャンにも代表されるどぶ板通りの刺繍製品ですが、スカジャンだけではなくありません。軍服にあるワッペンも刺繍を施したものがたくさんあります。



古くから刺繍入りワッペンを売るダイヤモンド商会

16号線沿いにある「ダイヤモンド商会」をはじめとする刺繍ワッペンを扱うお店があります。ここでも米軍（空軍や海軍、

陸軍）のワッペンやアメリカと日本の国旗が入っているワッペンなどアメリカンな雰囲気を感じることができるお店です。

地元ではアメリカというより「刺繍を特注でも請け負ってくれるお店」として有名で、学校の部活のチームウェアへの刺繍をしてもらったと横須賀育ちの荒岩氏が思い出を語ってくださいました。



地元でも愛される刺繍の専門店 大将正寿

米軍基地があり、その影響で発展したものや米兵対象にしたものなどが横須賀の観光名所や名物になっています。

普段はあまり横須賀には行かない方、横須賀には例会に出席するだけの方も、ちょっと足を伸ばしてアメリカンな横須賀の街を味わってみてはいかがでしょうか？

今回ご紹介した場所は下記でご覧いただけます。
<https://maps.app.goo.gl/QKH2jA5nLVh4NEGq5>





大手IT企業社員から金属加工業へ そして、植物工場を始めた



有限会社 川田製作所
代表取締役社長 川田 俊介氏
(小田原支部・前ダイバーシティ委員会委員長)

●有限会社川田製作所
神奈川県小田原市中新田294-1
TEL: 0465-48-8696 FAX: 0465-47-3398
<https://www.kawada-ss.co.jp/>

今回お話を伺ったのは、二〇二〇年度から二〇二一年度まで二年間、ダイバーシティ委員会の委員長を務めていた有限会社川田製作所 代表取締役の川田俊介氏。自社の社内では、四〇年以上にわたり外国人や障がい者がごく自然に活躍している。しかし、それを率いる川田氏からは、ダイバーシティという気負いは少しも感じられない。そんな川田氏が、大手IT企業を退社して、先代が築いた川田製作所を継いだのは、四〇歳の時のことだった。

その後、結婚した父は、娘を授かる。そして、一九六九年（昭和四四年）、三〇才で小田原に工場を構えて独立し、祖母と二人の弟妹を呼び寄せ、一家を支えた。その翌年、一九七〇年（昭和四五年）に生まれたのが、現社長の川田俊介氏である。

その後、父の事業は高度成長期とあって順調に拡大していき、一九七三年（昭和四八年）に法人化して「有限会社川田製作所」となった。最盛期には工場三カ所、四〇名もの従業員を抱え、大手電機会社の下請けとして金属部品のプレス加工や、カメラの組み立て作業を請け負っていたという。

苦労人の父が小田原で金属加工業を起業
祖父は熱海市の職員だったが、職務中に波にさらわれ、父が小学校六年生の時に死亡。残された祖母は四人の子どもを女手一つで育ててきた。長男だった川田氏の父は中学を卒業すると上京し、板金・プレス会社の会社で働き始めている。

大学ではロボットプログラミングを専攻し、アルバイトで旅三昧
入学したのは小田原市立矢作小学校だった

が、三年生になると足柄上郡大井町に引っ越し、上大井小学校に転校した。姉の影響でピアノを習う一方で、友人に誘われて柔道の道場にも通った。

やがて、足柄上郡大井町立湘光中学校に進学すると、野球部に入部した。その後、進学したのは、神奈川県立小田原高等学校だった。そして、現役で中央大学理工学部精密機械工学科に入学している。

「家業を継ぐかどうかは決めていませんでしたが、家業を意識してのことでした。」
だが、選択したのはロボットプログラムの研究室だった。実は、中学生の頃からパソコンに興味を持ち、すでにプログラミングをしていたそう。

一方、大学時代にはリゾート地でのアルバイトに打ち込んでいた。箱根のホテルで住み込みのアルバイトをしたり、週末には軽井沢のホテルで結婚式のウエイターをしたりした。運転免許証は、高校三年生の一学期に取得済みだったから、父の車を借りてよくドライブにもできていたという。

**川田製作所でのやりがい
人生を賭けた！**

一九九三年、IT大手の富士通にシステムエンジニアとして入社した。配属先は、千葉県船橋市にあった官庁担当のシステム事業部だった。二〇代後半に社内恋愛をし、三三才で結婚した。仕事仲間にも恵まれ、充実した生活を謳歌していたのだが、三七才になったとき、父からあらたまって家業を継ぐ意思があるのかどうかを打診された。

すぐには返事ができなかった。しかし、



初節句。手にはなぜか大きなバナナ。



趣味は旅行。国内は全県制覇済み。アジア、北米、ヨーロッパなどへも出かけた。2000年、グランドキャニオンにて。

し、父母が苦勞して築いてきた会社をここで終わらせてしまうことは、どうしてもできなかった。数か月後に会社を継ぐ決心をし、三年後、単身小田原に帰ってきた。

入社と同時に副社長に就任し、事業の管理、IT化に取り組んだ。前職の経験を今後の会社の強みにしていきたいと考えてのことだった。そして、製造や品質管理のデジタル化と高度化、情報共有や伝達のスピードアップを実現。さらに、業務のクラウド化やペーパーレス化にも取り組み、現在、社内のクラウド化九〇%、ペーパーレス化九九%を達成している。

現在、社員一七人のうち障がい者が五名、外国人が二人働いている。彼らの勤勉な働きぶりや労働意欲、価値観が、ほかの社員の良い刺激になっていると目を細める。

事業の持続性を考え、農福連携の植物工場を建設

今後の事業の持続性を考え、二〇一八年に植物工場に取り組み始めた。最初は、本社社屋内に実験プラント「水の野菜Lab」を設立。二〇一九年に社長に就任すると、植物工場の建設に注力していった。

二〇二〇年、父が耕作放棄農地を見つけてきた。それで事業はようやく前進するかと思われたが、行政手続きの壁が立ち上がった。役所に日参して、突破口を探る日々が続いた。三〇アル以上の農地を確保し、事業再構築助成金を利用し、農業法人「株式会社グッドファーム」を設立して、ようやく認可にこぎつけた。

一方、植物工場の実験施設は、三年間にわたって実験栽培を重ね、フリルレタス、ベビーリーフなどの安定収穫に成功。ついに、二〇二三年一〇月、就労継続支援B型事業所として、農福連携の植物工場を稼働し始めた。現在、地元小売店やレストランなどに卸している。今後は利用者数の増加と販路拡大が課題だと語った。

（文：（有）マス・クリエイターズ 佐伯和恵）

▶もっと詳しく読みたい方は同友会HPに完全版掲載中！



経営者のみなさまへ

伝えよう
あなたの会社の想い!!

記念誌 広報誌
機関紙... etc

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
TEL (045) 785-1700 FAX (045) 784-6902
株式会社 神奈川機関紙印刷所



ぶつけたらスグ検索 村松鍍金塗装
☎044-850-5075 9:00~18:00(日曜・祭日定休)

有限会社 村松鍍金塗装
MURAMATSU.B.P

Hi! Hi! Hi! 会員訪問

〒252-0237 相模原市中央区千代田4-5-19
TEL : 042-757-3160
URL : <http://minamikouki.co.jp/>

株式会社ミナミ工機 代表取締役社長 南 篤史さん(相模原支部)

JR横浜線の矢部駅から徒歩15分、相模原市で機械工具商社を営んでいる「ミナミ工機」。地域の「工具屋さん」として工場や建設現場などモノづくりの現場に工具を届けています。ミナミ工機は商品を届けるだけでなく納入先企業のコスト削減や作業効率アップなどに繋がる商品やアイデアを提案しているモノづくりのサポーター企業です。

代表の南篤史さんは、福岡県生まれの相模原市育ち。大学を卒業後、モノづくり業界の全国展開専門商社に勤務の後、祖父が1973年に創業した「ミナミ工機」に入社。2021年11月に3代目として社長に就任し、同友会にも入会しています。

趣味は、ゴルフとサッカー。特にサッカーは小学生の時から地元のサッカーチームに所属。今もフットサルサークルに所属しています。休日が重なれば気心知れた仲間とゴルフに出かけてリフレッシュしています。「お客様の期待に応え、イキイキと働く社員の姿が見たい。そのために社員のモチベーションアップや知識向上に力をいれていきたい」と語ってくれました。

〈訪問取材 (有) テーラーマックス 外木宏明〉



NEW FACE 新会員紹介

	会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
1	NPO法人ユースポート横濱	理事	駒形 直子	横浜中央	2023年12月1日	若年者向けの就労支援	山本、渡辺
2	石井英行FP税理士事務所	代表	石井 英行	横浜北	2023年12月1日	資金繰り・資金調達・経営改善でお悩みの会社専門に財務コンサルティング	事務局 (HP)
3	神上コーポレーション(株)	代表取締役	鈴木 崇司	横浜北	2023年12月1日	DX、IOTデバイス設計開発、組織改善、PM、技術コンサル、新規事業推進	渡辺 学
4	ソジョウ・カンパニー(株)	代表取締役	砂道 康介	県南	2023年12月11日	サステナビリティ・SDGs領域コンサルティング	事務局 (HP)
5	(株)高倉園グリーンセンター	代表取締役	入内島健一郎	湘南	2023年12月11日	庭の設計・施工・管理、樹木の剪定・販売、新植・移植等、樹木の伐採	矢部康博
6	合同会社CLEB	代表	岡本 滉平	横浜みなと	2023年12月15日	ネットショップの構築やその周辺のLP・HP製作、LINE構築等	事務局 (HP)
7	宮崎運輸(株)	(後継者)	杉尾 恵理	川崎	2023年12月21日	一般貨物自動車運送事業	佐藤慎治
8	(有)武蔵工業	代表取締役	小瀬 公嗣	横浜北	2023年12月22日	精密板金加工、試作から量産まで	角田孝志
9	(株)uum・QURAS不動産	会長	中島 敦	横浜中央	2023年12月25日	不動産、リフォーム	加藤 睦
10	月 Luna	代表	篠羽来 侑実	横浜みなと	2023年12月25日	飲食業、心理カウンセリング、ヒーリングシンガー、パワーストーンアクセサリデザイン	渡辺 学
11	ひみつきち	代表	光銭 晃子	湘南	2023年12月28日	ドローンとBBQのレンタルスペース	菅野恒宏
12	想い紡ぐ風	代表	倉本 泰孝	湘南	2023年12月28日	障がい者の就労継続支援事業他	林 英奈

2023年12月31日現在会員数：876名（全国会員数：47,378名）

会員 Information
～会員皆様からの情報を
お待ちしております～

屋号・役職変更
NPO法人ごちゃまぜ 代表理事 小野純子氏
旧：雨野千晴 代表
新：NPO法人ごちゃまぜ 代表理事

名義変更
太陽電音(株) 代表取締役社長 榎原孝幸氏
変更前：太陽電音(株) 取締役 小林 健氏
変更後：太陽電音(株) 代表取締役社長 榎原孝幸氏

住所変更
MTA合金(株) 代表取締役 柴田徹郎氏 (たまた田園支部)
旧：210-0005 川崎市川崎区東田町8 パレールレッド館401-B
新：108-0074 東京都港区高輪3-23-17 品川センタービル807

編集後記

今回、障がい者雇用の現状をお伺いしに、神奈川県庁本庁舎を訪れました。

神奈川県庁本庁舎は1928年（昭和3年）に竣工。市民から「キングの塔」として親しまれており、国指定重要文化財にも指定されています。夜はライトアップされ、伝統ある本庁舎のシルエットが鮮やかに横浜の夜に浮かび上がります。屋上は開放されており、大栈橋、横浜ベイブリッジが臨め、気分をリフレッシュできます。ぜひ、機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか？
(文/Power Of Word 平嶋 大輔)



義父が残した趣味のパーティールームから起業 想いは、「誰もが生きることを楽しみ、 自分らしく生きていける世の中に！」

最寄駅から徒歩18分

少し遠いが広い敷地には無限の可能性

(株)みどり企画は、横浜市営地下鉄グリーンライン川和町駅から徒歩18分と少し離れた場所にある。駅から離れているが、その代わり大きな音を出しても騒いでも周りを気にすることなく、自由に活動できる場所、と代表取締役の小島真由美氏は語る。レンタルスペース、不動産管理、農業、建設業、ダブルダッチ応援事業を行い、夫、娘、息子、息子友人と家族経営である。見事な桜の木もあり、たま田園支部と横浜北支部がお花見&BBQで利用している。

レンタルスペース事業で起業すると

ミラーボールで同友会と繋がった

二十歳で嫁いだ先は、義父が(株)緑建設という建設会社を営み、夫もそこに勤務、義母は農業を営んでいた。会社の敷地内には、義父が趣味で建てたパーティールームがあり、カラオケ装置、ステージ、照明音響装置、ミラーボールもある。義父はここで友人や近所の方とカラオケグループを作って楽しんでいたが、ある日、「誰がパーティールームのあとを継いでくれるんだ」と問いかけた。この一言がきっかけで、2017年5月にレンタルスペース事業として(株)みどりスタジオを設立した。

小島氏は、ここで音楽ライブなどイベントを積極的に開催する。テレビのニュースで「障害者ディスコ」を見たお客さんから「ミラーボールもあるし、あなたの所でもできるんじゃない」と聞き、「Midori Disco」を開催した。そのときMCに来てくれたのが、調布でディスコをやっていた(株)まちふく田中博士氏である。小島氏は、田中氏に紹介されたダイバーシティ委員会の例会と懇親会に参加し、同友会会員の熱い思いに触れて2018年5月に入会、たま田園支部の所属となった。

その後、2019年には社名を「(株)さくらいろ」へ変

更。2022年に義父から小島氏のご主人が引き継いだ「緑建設」に「さくらいろ」の事業と家業の農業、不動産管理を統合した。同時に社名も「(株)みどり企画」に変更し、再スタートした。想いのある「さくらいろ」の名称は、個人事業としての「さくらいろ」に引き継がれた。

個人事業“さくらいろ”の活動は

「知りたい」から始まり「伝えたい」へ

会社勤めなどせずに結婚した小島氏が、起業して事業を行って行く中で「世の中にはまだ知らないことが沢山ある、もっと知りたい!」と思うようになった。そしてたくさんのご縁の中から学んだことをもっと多くの人に「伝えたい」と思うようになっていった。

みんなひとりひとり“これが私”というものはちがう。生まれた場所も、育った環境も、好きなもの、嫌いなもの、得意なもの、不得意なもの、セクシュアリティも誰1人として同じ人はいない。そしてちがいが見えるもの、見えないものもある。“ちがう”を知り、寄り添い歩み寄り、味方だよ、仲間だよと伝える「ALLY(アライ)」という言葉がある。もっと優しい社会にしたいと、ALLYの輪を広げていく活動をしている。

そしてもう一つ、小島氏がこよなく愛する日本のお米で作った日本の「國酒」である日本酒の歴史や奥深さ、蔵の思いなどを伝えていく、「日本酒伝道師」としても活動している。

2023年2月からは、ラジオパーソナリティに挑戦。ネットラジオ“ゆめのたね放送局”の「みんなピンクになぁ〜れ」という番組(毎週火曜日の朝6時30分から30分間の放送)だ。自分の想いを“Ally sakurairo”の回(ALLYについて)、“Sake Sakurairo”の回(日本酒について)、“ひとり語り”の回で全国に伝えている。

合言葉は「みんなピンクになぁ〜れ」

これは、小島氏が良く言う合言葉。黒いモヤモヤした気分が晴れ、パッと明るくピンクになるイメージだそ

うだ。小島氏が手掛ける事業で、辛いことや悩みが癒され、「楽しかった、また明日から頑張ろう!」と元気になってくれることを祈っている言葉だ。

一見相互に関係のなさそうな事業を行っているように見えるが、根底にある想いは同じ、「大人も子どもも、生きることを楽しもう。自分らしく、ありのまま、共に生きる」。行動力溢れる小島氏は、みどりいっぱい自然豊かなスペースで実現しようとしている。

さらに新しい事業“ドローンスクール”を来年度から始める。(株)みどり企画の広大な敷地では、ドローンが飛ばせるのだ。この事業も長年あためていたもの。知人が響者と共に運営しているドローンスクールを紹介してくれ、共に事業を進めていくことになった。このスクールでは民間だけでなく、国家資格も取得できる。また、川崎市が推進している「超短時間雇用」を学び、高校生のアルバイトを受け入れている。将来は、近くにある児童養護施設からも高校生のアルバイトを受け入れ、興味のある仕事があれば体験して欲しいと考えている。

同友会での学びが自分を少しずつ成長させてくれている、と語る小島氏。誰もが生きることを楽しむための優しい事業が、休むことなく膨らんでいる。



株式会社みどり企画 代表取締役 小島真由美氏

(文:(有)明和企画 野垣博文、取材:(有)明和企画 野垣博文、テンプラス社労士・行政書士事務所 鈴崎治男 / 写真:(有)マス・クリエイターズ 中林 正幸 / デザイン・レイアウト:(有)デザインスペースマジック 佐藤 慎治)

彩時季
2・3月

森岡Nutrition事務所
森岡 梓
(もりおか あずさ)
(横浜みなと支部)



年が明けて気づけばもう2月。新年早々、災害や事故のニュースが続く、胸が痛む思いです。被災された方々が一日も早く平穏な生活を取り戻せることを心から願います。

また、災害はいつ自分に起こるか分かりません。「備えあれば憂いなし」の精神で、最低でも1週間分の食料や日用品の備蓄を心がけることが大切だと、改めて感じています。

皆様も、会社や家庭での準備が整っているか、この機会にぜひ確認してみてくださいね。

【広報委員】

【横浜中央支部】中林正幸、網野雅広 | 【横浜みなと支部】野垣博文、川崎実知郎 | 【横浜北支部】 | 【川崎支部】 | 【県央支部】 | 【湘南支部】 | 【県南支部】 | 【小田原支部】 | 【たま田園支部】佐藤慎治
松村千代、堤 由里恵、今井鉄平 | 木村亮太、森岡梓、平嶋大輔 | 角田孝志、村上明香 | 外木宏明 | 岡部達彦、天野哲也 | 鈴木 大、藤木尚 | 荒岩理津子 | 小山暢宏 | 鈴崎治男、佐々木良司

表紙/photo: 中林正幸(有)マス・クリエイターズ / design: 佐藤慎治(有)デザインスペースマジック

神奈川県中小企業家同友会 | 2024年2月1日発行(月刊) 毎月1回1日発行 編集責任者/松村千代 発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
同友かながわ第454号 | 神奈川中小企業センタービル3F TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672 制作・印刷/株神奈川機関紙印刷所